

Curriculum Vitae

前田 廉孝 (Kiyotaka MAEDA)

連絡先

西南学院大学経済学部経済学科

〒814-8511 福岡県福岡市早良区西新 6-2-92

電話番号：(省略)

FAX 番号：(省略)

E-mail アドレス：k-maeda[at]seinan-gu.ac.jp

ホームページ：http://www.kiyo-maeda.org

個人情報

性別：男

生年：1985年6月

国籍：日本

職位・職歴

2013年4月－現在 西南学院大学経済学部経済学科 講師

2013年5月－現在 大阪経済大学日本経済史研究所 特別研究所員

2013年7月－現在 慶應義塾大学経済学部経済学科 訪問講師

2010年4月－2013年3月 独立行政法人 日本学術振興会特別研究員(DC1・社会科学(経済学))

学位・学歴

2013年3月 慶應義塾大学大学院経済学研究科経済学専攻後期博士課程単位取得退学

2010年3月 慶應義塾大学大学院経済学研究科経済学専攻前期博士課程修了
修士（経済学），慶應義塾大学（平成21年度第1144号）

論文題目

明治後期日本における塩専売制度の成立過程—輸移入塩対策を中心に—

審査者

（主査）杉山伸也氏（慶應義塾大学経済学部教授）

（副査）柳沢遊氏（慶應義塾大学経済学部教授）

神田さやこ氏（慶應義塾大学経済学部准教授）

2008年3月 慶應義塾大学経済学部経済学科卒業

学士（経済学），慶應義塾大学

2004年3月 私立慶應義塾高等学校卒業

賞罰

2014年3月 西南学院大学研究奨励賞 受賞

2013年10月 2013年度経営史学会・出版文化社賞 受賞

専攻分野

経済政策史，市場史，経営史

研究活動（学術論文）

査読付き論文

1. 「戦前期台湾・関東州製塩業における日系資本の進出過程—野崎家と大日本塩業株式会社を中心に」『社会経済史学』（社会経済史学会）78巻3号，2012年11月，3-28頁。
2. 「明治・大正期における食品製造業者の輸移入原料調達—醤油醸造業者 高梨家（千葉県東葛飾郡野田町）を事例に」『経営史学』（経営史学会）47巻2号，2012年9月，49-75頁。
3. 「明治後期商品取引所における定期取引—東京商品取引所食塩取引を中心に」『歴史と経済』（政治経済学・経済史学会）第213号，2011年10月，28-43頁。

査読無し論文

1. 「1890年代後半期日本における内地産品・輸移入品間の市場競合—曹達製造用・醤油醸造用塩市場を中心に—」『西南学院大学経済学論集』48巻第1・2合併号，2013年9月，89-117頁。
2. 「日清戦後における食塩輸入量増加と製塩業界の対応—大日本塩業協会の設立を中心に—」『日本塩業の研究』（日本塩業研究会）第32集，2011年3月，51-77頁。

ワーキングペーパー

1. "Dynamic Linkages Between Tokyo and Osaka Rice Futures Markets in Prewar Japan", with Mikio Ito and Akihiko Noda [arXiv: 1404.1164], April 2014.
2. "Futures Premium and Efficiency of the Rice Futures Markets in Prewar Japan", with Mikio Ito and Akihiko Noda [arXiv: 1404.5381], April 2014.

資料紹介論文

1. 「戦時期満洲・中国・南洋群島における資源調査関連史料—第1次山西学術調査研究団史料（花井家史料）の紹介を中心に—」『西南学院大学経済学論集』48巻第3・4合併号，2014年3月，319-376頁。

報告書・その他

1. 「20世紀初頭における塩の需要拡大と関東州塩業—食品工業塩需要への考察を中心とした嗜好品原料史研究」『平成20-21年度嗜好品文化研究会研究奨励事業報告書』嗜好品文化研究会・(株)CDI，2010年4月，21-42頁。

進行中の論文

1. 日清戦後経営期における同業者団体の活動—大日本塩業協会の会報発行活動を事例に—
2. 日清戦後経営期における農商務省の製塩業政策
3. 初期塩専売制度の導入・運用過程—「公益専売」への変容過程を中心に—
4. 時変効率性の計測に基づく米価史研究の意義
5. 戦時期華北における日本の資源調査—第1次山西学術調査研究団を事例に—
6. Dynamic Linkages Between Tokyo and Osaka Rice Futures Markets in Prewar Japan (with Akihiko Noda and Mikio Ito).

7. Futures Premium and Efficiency of the Rice Futures Markets in Prewar Japan (with Akihiko Noda and Mikio Ito).

研究活動（研究報告）

学会における報告（国際）

1. 「日清戦後経営期における農商務省の製塩業政策」東アジア日本学会 2014 年度春季国際学術大会（仁川大学校松島キャンパス（大韓民国）），2014 年 5 月 17 日（予定）。

学会における報告（国内）

1. “*Futures Premium and Efficiency of the Rice Futures Markets in Prewar Japan*”，日本経済学会 2014 年度秋季大会（西南学院大学）（共同報告者：野田顕彦氏（和歌山大学）・伊藤幹夫氏（慶應義塾大学）），2014 年 10 月 11-12 日（予定）。
2. “*Dynamic Linkages Between Tokyo and Osaka Rice Futures Markets in Prewar Japan*”，日本経済学会 2014 年度春季大会（同志社大学今出川キャンパス）（共同報告者：野田顕彦氏（和歌山大学）・伊藤幹夫氏（慶應義塾大学）），2014 年 6 月 15 日（予定）。
3. 「日清戦後経営期の非輸出産業における同業者団体の活動—大日本塩業協会の会報発行活動を事例に—」社会経済史学会九州部会・経営史学会西日本部会合同 1 月例会（於：福岡大学七隈キャンパス），2014 年 1 月 25 日。
4. 「明治・大正期日本における塩専売制度の運用—「財政専売」から「公益専売」へ—」政治経済学・経済史学会 2012 年度秋季学術大会（於：慶應義塾大学三田キャンパス），2012 年 11 月 10 日。
5. 「日清戦後における食塩輸入量増加と製塩業界の対応」日本塩業研究会平成 24 年度総会（於：富山マンテンホテル），2012 年 8 月 23 日。
6. 「明治期日本における塩専売制度の導入過程」社会経済史学会第 81 回全国大会（於：名古屋大学東山キャンパス），2012 年 5 月 12 日。
7. 「日清・日露戦間期台湾製塩業における野崎武吉郎家の進出過程」日本植民地研究会 2011 年度秋季大会（於：慶應義塾大学三田キャンパス），2011 年 11 月 12 日。
8. 「明治・大正期における醤油醸造業者の原料調達—千葉県東葛飾郡野田町 高梨家を事例に—」経営史学会第 47 回全国大会（於：九州大学箱崎キャンパス），2011 年 10 月 15 日。

9. 「明治後期における商品先物取引の機能」政治経済学・経済史学会 2010年度秋季学術大会（於：首都大学東京南大沢キャンパス），2010年11月13日。

セミナーにおける報告（国際）

1. “*Competition between Imported and Domestic Salt in Japan: Cases from the Chemical and Food Industries in the Late 1890s*”, The International Workshop on World Economic History (Kyoto University) , November 8, 2013.

セミナーにおける報告（国内）

1. 「第1次山西学術調査研究団による資源調査」慶應義塾経済学会ミニカンファレンス「1930-1940年代の地域社会－日本帝国膨張・収縮期の東アジアと日本の都市社会の関連を中心に－」（於：慶應義塾大学三田キャンパス），2014年7月20日（予定）。
2. 「時変効率性の計測に基づく米価史研究の意義」和歌山大学経済学会学術講習会「経済時系列解析と歴史研究－分析モデルの開発とその応用－」（於：和歌山大学栄谷キャンパス），2013年9月19日。
3. 「1890年代後半期日本における内地産品・輸移入品間の市場競合－曹達製造用・醤油醸造用塩市場を中心に－」慶應義塾経済学会国際シンポジウム「戦前期日本帝国における産業発展と経済構想」（於：慶應義塾大学三田キャンパス），2013年7月27日。
4. 「明治期日本における塩専売制度の導入過程」東京大学大学院経済学研究科附属日本経済国際共同研究センター経済史研究会（於：東京大学本郷キャンパス），2013年1月21日。
5. 「戦前期台湾・関東州製塩業における日系資本の進出過程－野崎武吉郎家と大日本塩業株式会社を中心に－」香川大学経済学部現代社会研究会 2011年度研究報告会（於：香川大学幸町キャンパス），2012年1月18日。
6. 「20世紀初頭における塩の需要拡大と関東州塩業」第7回嗜好品文化フォーラム（於：キャンパスプラザ京都），2009年5月31日。

教育経験(担当科目)

西南学院大学

- 演習 I（経済学部），2014年～（通年科目）
- 基礎演習 I（経済学部），2013年～（通年科目）
- 基礎演習 II（経済学部），2013年～（通年科目）
- 日本経済史（経済・商・法・国際文化学部），2013年～（後期集中科目）
- 経済英語 I（経済学部），2013年～（前期集中科目）

研究資金獲得状況

外部資金（競争的研究資金）

- 2014-2016年度 日本学術振興会科学研究費補助金・若手研究(B)（研究課題番号：26780199）
「戦前期日本勢力圏下における原料資源政策—塩専売制度を中心に—」
（¥1,800,000，研究代表者）
- 2012-2014年度 日本学術振興会科学研究費補助金・基盤研究(C)（研究課題番号：24530364）
「近現代日本の米穀市場における時変効率性と情報完備性の計測と比較」
（¥5,000,000，研究分担者（研究代表者：野田顕彦氏（和歌山大学））
- 2010-2012年度 日本学術振興会科学研究費補助金・特別研究員奨励費（研究課題番号：10J02653）
「戦前期大蔵省専売局による塩需給調整政策の展開—植民地塩による調整機能を中心に—」
（¥1,100,000，研究代表者）
- 2010年度 福武学術文化振興財団歴史学助成
「関東の名望家と醤油醸造業—野田・高梨家文書の研究—」
（¥1,500,000，研究補助者（研究代表者：井奥成彦氏（慶應義塾大学））
- 2008-2009年度 嗜好品文化研究会第2回研究奨励事業研究助成金
「20世紀初頭における塩の需要拡大と関東州塩業—食品工業塩需要への考察を中心とした嗜好品原料史研究」
（¥600,000，研究代表者）

学内資金

- 2013年度 慶應義塾学事振興資金（共同研究枠）
「1930～40年代における国策会社と在華日系企業の資源調査・運輸調査」
（¥500,000，研究協力者（研究代表者：柳沢遊氏（慶應義塾大学））

2012年度 慶應義塾学事振興資金 (経済学研究科枠)
「震災・原発危機と地域経済復興」
(¥800,000, 研究協力者 (研究代表者: 柳沢遊氏 (慶應義塾大学)))

社会活動

所属学会

Economic History Society
Economic History Association
社会経済史学会
政治経済学・経済史学会
経営史学会
日本植民地研究会
日本塩業研究会 (塩業史部会)

学位審査者・共同研究者

学位審査者

杉山伸也氏 (慶應義塾大学経済学部教授)
柳沢遊氏 (慶應義塾大学経済学部教授)
神田さやこ氏 (慶應義塾大学経済学部教授)

共同研究者

天野雅敏氏 (岡山商科大学大学院商学研究科教授)
井奥成彦氏 (慶應義塾大学文学部教授)
石井寿美世氏 (大東文化大学経済学部講師)
石崎亜美氏 (慶應義塾福澤研究センター)
伊藤幹夫氏 (慶應義塾大学経済学部准教授)
岩淵令治氏 (学習院女子大学国際文化交流学部教授)
谷本雅之氏 (東京大学大学院経済学研究科教授)
花井俊介氏 (早稲田大学商学学術院教授)
中西聡氏 (慶應義塾大学経済学部教授)
野田顕彦氏 (和歌山大学経済学部准教授)

2014年4月24日改訂